

働き方改革

シリーズ



事務作業を大幅に省力化できる

ピー・エス・シー 印刷・製本管理システム

印刷・製本業界向けの各種業務管理システムを開発・販売するピー・エス・シー(株)(東京都足立区、原田敏明社長)は、安価なコストで導入可能な印刷業向け業務管理システム「印刷部門(スリエモン)」、製本業向け業務管理システム「綴之助(トジノスケ)」を提供している。同システムを活用すれば、データの二元管理により事務作業の省力化が可能になり、その時間を多能工化することで工場全体の生産性向上につなげることが可能になる。人との交流、人との接触を極力なくすることが求められる中、働き方改革だけでなく、ウイズコロナ時代に対応するシステムと言えそうだ。

事務作業の省力化は工場全体の生産性向上に

同社は、これまでに延べ150以上のシステムを印刷・製本業界に提供するユーザーも多い。ス・シーのシステムは、

価格で差別化を図っており、今年1月にシステムを導入したN社は「業務管

受発注、販売管理、請求書、指示書発行、売掛管理などの事務作業を一元管理することが可能。また、オプションで「進捗管理」などの生産管理システムも搭載できる。

一元管理することによってメリットについて、昨年にシステムを導入したA社は「全員が情報共有

データの二元管理で事務作業を省力化

多能工化で生産性向上

の様々なメリットが見え、短縮できている。システム導入前、Excelでも含めたシステムにしてもらいたいと考えている」と話す。

ピー・エス・シーの業務管理システムは、標準導入したF社は、「これまででは繁忙期は朝から夜

原田社長は「印刷業界ができて、日報と同じものは業界としてはIT化が作

セルなど個別のシステムを



WEB 工程管理画面

と多い。これらを一元管理することにより、二次入力、三次入力の無駄を省き、省力化を実現できる」と説明しており、それにより生まれた時間を

さらに同社の経営支援事業部では、印刷・製本業界を専門に事業再生・経営をサポートする(GIMS(さいたま市)と協力してユーザー企業の経営を支援している。ユーザー企業の営業や財務面の支援、IT補助金の資料作成などを基本的に「サービス」として行うことで差別化を図り、システム導入につなげていく。

原田社長は「見積りもチェックし、原価を低減するための様々なアドバイスを行いながら、ユーザー企業の経営を全般的にサポートしていく」としており、ITにより経営を「見える化」できるシステムの提供とコンサル事業の両面でユーザー企業の経営を支援している。